

	当院での現状の取り組み	今後の方向性・目標	SDGs
環境	院内で使用するコピー用紙は古紙30%配合のリサイクルペーパーを使用しています。	業務に使用する紙を環境や社会に配慮したものの選択していきます。	
	職員の名刺にバナナペーパーを使用しています。		
	医療器具の洗浄に自動洗浄装置を使用しています。水や洗剤を効率よく使用でき、排水の減量に貢献し、タンパク除去剤の使用により、分子レベルで汚れを落とし、安心・安全な医療の提供をします。	毎日の診療に必要な洗浄作業の効果・効率を検証し、確実に省力・省資源化が可能な方法を常に検討します。	
	エコキャップ活動として、ペットボトルキャップの回収を行っています。	回収したエコキャップを、NPO法人エコキャップ推進協会を通じて医療支援活動などに役立てます。	
社会	婦人科診療を通じて、多くの女性が健康的な社会活動をできるように体調管理のお手伝いをします。	地域の女性の健康維持のため、スタッフの自己研鑽を奨励し、最新の知識を以って女性の健康的な社会活動を支えるべく、医療を提供します。	
	疾病の管理だけでなく、女性のQOL向上のためのご提案を積極的に示していきます。		
	印刷物を社会福祉法人ながのコロニーに発注しています。障害者の皆さんの自立した社会生活を応援しています。	障害者雇用の機会の創出に可能な限り協力していきます。	
	医療現場での仕事を志す学生の職場体験学習を受け入れています。	地域の中学生の職場体験を受け入れることで、将来地域医療を志すモチベーションの向上に寄与します。	
経済	女性のための女性が支える医院をを体現します。	職員のワークライフバランスのニーズを把握するために必要なコミュニケーションを能動的に行います。	
	健康保険制度の適正運用を大切に、医師をはじめすべてのスタッフが婦人科を取り巻く保険診療の新しい知識を習得し適正な保険請求業務を実行します。	現在、当院は返戻のほとんどない保険請求を維持しているが、今後も維持できるよう保険制度の変更点などへの理解を深めるための情報収集と、研鑽を奨励する。	